

『国立西洋美術館展覧会総覧 1960 - 2009』について 展覧会レファレンス・ツール作成の試み

Exhibition Chronology and Artist Index
to the National Museum of Western Art, Tokyo

川口 雅子*

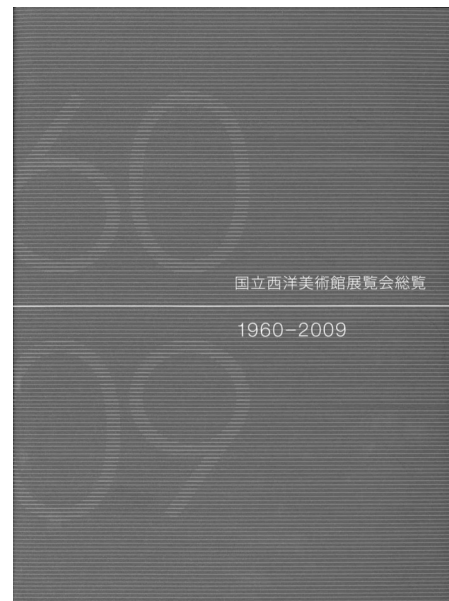
Resume:

国立西洋美術館は開館 50 年の節目を迎える今年、『国立西洋美術館展覧会総覧 1960 - 2009』と題する記念誌を刊行した。編纂に際してとくに力点を置いたのは、展覧会に出品された作品を個々の作家名から検索できるようにすることである。そのねらいは展覧会カタログへの橋渡しをすることにあった。基礎データの作成から編集、出版にいたる過程を振り返り、展覧会に関するレファレンス・ツール作成の試みについて報告する。

1. はじめに

開館 50 周年を迎えた今年、国立西洋美術館は記念事業の一環として『国立西洋美術館展覧会総覧 1960 - 2009』を制作した (図 1)。編纂作業に取り組んだのは学芸課情報資料室スタッフである。2009 年 6 月に記念式典で関係者に配布したの続き、9 月には欧文索引と若干の修正を加えて、淡交社より一般書籍として刊行された¹。この制作過程を振り返り、展覧会に関するレファレンス・ツール作成の試みについて報告する。

図 1
『展覧会総覧』表紙



2. 展覧会インデックスという考え方

『展覧会総覧』は、国立西洋美術館が開館以来実施してきた約 200 の展覧会を対象としている。企画段階で追求されたのは、この一冊が過去の展覧会の軌跡を辿ることで完結するのではなく、本書を取りまく外部の資料の発見にも結びつくようなものとするということであった。これは、利用者と資料をつなぐレファレンスの役割を本書に担わせる構想に収斂していく。

美術分野のレファレンス・ガイドを紐解くと、展覧会や展覧会カタログについての参考図書を数多くみつけることができる。最近も、日外アソシエーツ社より『展覧会カタログ総覧』が刊行されたばかりだ²。同書は美術図書館連絡会 (ALC) がその実現に協力した、わが国のアート・ドキュメンテーション活動の成果の一つである。

しかしこれは、どのような展覧会カタログがあるかを調べるツールであり、個々の出品作品につ

いて調査するためのものではない。したがって、例えば「ゴッホ展」のようにタイトルに作家名を含む展覧会を除けば、ゴッホの作品がどの展覧会に出品されたかは見当がつかないのである。

ニューヨーク大学図書館アート・ライブラリアンのトム・マクナルティは、このように展覧会や展覧会カタログに関するレファレンス・ツールが個々の出品作品の調査には向かないことを指摘し、そうした目的には、特定の美術展に特化したものが有効であると述べている³。その例として挙げられているのは、英国ロイヤル・アカデミーの 1769 年創設以来の出品情報を作家別に編纂した目録などである⁴。

*かわぐち まさこ (国立西洋美術館学芸課情報資料室)

①『国立西洋美術館展覧会総覧 1960 - 2009』について

他にもカナダのナショナル・ギャラリーでは、ライブラリー兼アーカイブズ部門が中心になり、展覧会カタログや未公開の出品リスト、アーカイブズ資料を整理し、出品作品情報を統合するプロジェクトが進められている⁵。一方、国内では、東京文化財研究所による『明治期美術展覧会出品目録』などの一連の美術展出品目録がある⁶。また神奈川県立近代美術館が開館 30 周年に際して刊行した『神奈川県立近代美術館 30 年の歩み資料・展覧会総目録:1951~1981』は、作家名索引こそないものの、美術館の出品目録という意味では同じ系譜に属するものである⁷。

このように展覧会出品作品の目録・索引はレファレンス・ツールのなかで一つの領域を形成しており、美術研究の発展に大いに寄与している。この状況を踏まえ、当館も 50 周年を機に、過去の出品作品を作家ごとに検索できるレファレンス・ツールを世に出すことで、半世紀の展覧会活動とその成果の記録であるカタログに光を当てることを企図した。

3. 刊行にいたるまで

3.1 出版社とのパートナーシップ

展覧会カタログが一般の書籍流通ルートに乗らず、入手しにくい灰色文献であることは繰り返し指摘されている⁸。それならば、せめて展覧会カタログへの架け橋は一般書店で入手しやすいものとしたいと考えた。これは、幸いにも淡交社が出版を引き受けてくれたことで、現実のものとなった。こうして期限まで約 1 年という時間的制約のなかで、編集方針の策定から実際の編纂作業、刊行までの一連の作業を外部の専門の編集者と共同で行う幸運に恵まれた。

3.2 データの収集と編集

本書の核となる部分は出品作品の作家別索引である。ここで問題となるのは、「出品されたこと」の典拠を何に求めるかである。展覧会では、カタログに収録した作品を展示できなくなることが間々あるからである。正確な出品情報の収集には、本来、アーカイブズを含むさまざまな資料にあたる必要があるが、本プロジェクトでは資料の整理状況や時間の制約などの限られた条件の

もと、典拠を展覧会カタログに求めるという現実的選択を余儀なくされた。したがって厳密に言えば本書は展覧会カタログの収録作品索引である。

制作段階ではまず情報資料室スタッフの総力を結集し、全ての展覧会カタログにあたって作品データを一から入力する作業に取りかかった。通常業務の傍ら、約 1 万 5 千件を集積するのにおよそ 8 カ月かかった。本文に記載はないが特別展示された作品を正誤表から丹念に拾い出すなど、限られた範囲の中でも情報の精度を上げることにスタッフ一人一人が努めた。

こうして集めたデータを基礎に、次の段階では膨大なデータを精読し、作家名を名寄せする編集作業に淡交社と共同で取り組んだ。ユニークな作家レコードの全容はなかなか掴めず、作業は困難を極めた。同社美術企画部諸氏の、美術書制作の豊富な経験に裏打ちされた高度な技術と洞察力がなければ、短期間にやり遂げることは不可能だったに違いない。

4. 『展覧会総覧』の構成・内容

4.1 第 1 部「展覧会一覧」

本書は大きく 3 つの部分から成る。第 1 部「展覧会一覧」(図 2)では、展覧会を年代順に総覧することが可能だ。それぞれ展覧会名称、会期、主催者、出品点数、入場者数、巡回先などを概括的に記している。収録件数は全 216 件。

また展覧会カタログや、展覧会に関連して開催されたシンポジウム報告書などへの参照指示も付す。これは後述の第 3 部とクロス・レファレンスの関係にある。あわせて会場で無償配布される出品リストなど、展覧会カタログからは得られない情報を補完する一過性資料(エフェメラ)についての情報も収録した。

4.2 第 2 部「作家別出品作品インデックス」

第 2 部「作家別出品作品インデックス」は本書のメイン・パートである(図 3)。作家ごとに、出品作品の情報(展覧会当時の所蔵先、作品名、所蔵番号、制作年、技法、支持体、サイズ、カタログ番号)を収録する(図 4)。収録作家数は約 2,870 人(「帰属」「派」なども 1 人と数えた場合)、作品数は約 14,720 件にのぼった。

図2 「展覧会一覧」部分

E1987.02

西洋の美術：その空間表現の流れ—欧州評議会特別展
1987年3月28日—1987年6月14日
国立西洋美術館、読売新聞社新聞社、日本テレビ放送網、欧州評議会
絵画72点、彫刻20点、素描6点、版画10点、書籍5点、工芸8点、計121点
C1987.02 (301 pp. 28×22.5 cm); ☆(130) pp. 21.9×12 cm);
C1987.05 (176 pp. 29.7×21 cm)
611,983人

Space in European Art Council of Europe Exhibition in Japan
28 March 1987–14 June 1987
National Museum of Western Art, Tokyo; Yomiuri Shimbun; Nippon Television Network Corporation; Council of Europe

美術史において重要なテーマである「空間表現」を、古代から現代にいたる西洋美術の名作を通じて、具体的に概観しようとする試み。ヨーロッパ21か国が参加する欧州評議会が中心となり、ヨーロッパ各地の美術館から美術史上きわめて重要な作品約120点を出品。当館の本館・新館全体を展示にあてて大規模な展覧会となり、内外の美術史研究者を招いてシンポジウムも開催された。

図3 「作家別出品作品インデックス」見開き

<p>ファン・ゴッ、エドヴァルド・ファン・デ Volk, Jans van de, I 1587-1630 オランダの画家、版画家</p> <p>アムステルダム国立美術館 決壊した建物の修復 (PP-CB-19871) 1624年 エッチング、エンブレ グランプ、第3ステート 28.3×38.5 E1900.04.11 図録 (1911-1884-02) 1629年 黒鉛、炭、藍色の水彩、灰色でア カント、ペルシカ色のインクによる線と点 18.5×13.8 E2000.04.13</p> <p>ファン・ゴッ、ヨハニス・ファン・デ (三回) Volk, Jan van de, III ca. 1593-1641 オランダの画家</p> <p>アムステルダム国立美術館 巨人たちも驚かす死神 (PP-CB-15311) 1620年 エッチング 19.3×14.1 E2000.04.12</p> <p>レニングラード、エルミタージュ美術館 静物のある風景 (Pv.No.2225) 1815年 ペン、黒、褐色インク 15×3.9 E1983.01.05</p> <p>ファン・ゴッ、ヨハニス・ファン・デ (三回) Volk, Jan van de, III 1629-1662 オランダの画家</p> <p>アムステルダム国立美術館 ワイングラスとパイプのある静物 (SK-A.3088) 1651年 絵画、カンヴァス 69×85.5 E2000.04.38</p> <p>フェルナンデス、フアン Fernandez, Juan ca. 1627 スペインの画家</p> <p>ロンドン、ブリティッシュ・ミュージアム 夜 (2888) 絵画、カンヴァス 44.3× 119.02.14</p> <p>フェルナンデス・ノゼレト、ルイス Fernandez Navea, Luis active 1795-1819 スペインの版画家</p> <p>アムステルダム国立美術館 ノット (構図)より 1795年 絵画、エンブレ、グランプ 黒鉛、炭の線 (IL3033) 1999.01.16 黒鉛、炭の線 (IL3034) 1999.01.167 黒鉛、炭の線 (IL3035) 1999.01.168 黒鉛、炭の線 (IL3036) 1999.01.169 黒鉛、炭の線 (IL3037) 1999.01.170</p> <p>アムステルダム国立美術館 寛政の屏風 (14000) 屏風 1821.11.15 作例：アントニオ・ダ・グレイ E1990.01.13</p> <p>ファン・ハーフト、トビアス Vanhaecht, Tobias ca. 1650- 1631 オランダの画家</p> <p>レニングラード、エルミタージュ美術館 トピラスと天使のいる風景 (Pv.No.15090) 1617年 ペンと褐色インク、黒 色と赤色の水彩 17.5×21 E1983.01.49</p>	<p>フェルメール、ヨハネス(ヤン) Vermeer, Johannes (Jan) 1632-1675 オランダの画家</p> <p>アムステルダム国立美術館 窓辺で手紙を読む若い女 (Gal.No. 1336) 1659年 絵画、カンヴァス 44×38.5 E2000.04.71 ドレスデン国立絵画館 窓辺で手紙を読む若い女 (Gal.No. 1336) 1659年 絵画、カンヴァス 44×38.5 E2000.04.71</p> <p>アムステルダム国立美術館 ダイアナとニンフたち 1654年 絵画、カンヴァス 98.5×105 E1968.04.69</p> <p>ダイアナとニンフたち (Inv. no. 406) 1655年 絵画、カンヴァス 98.5× 105 E1984.01.39</p> <p>若いターバンの少女 (Inv. no. 670) 1660年 絵画、カンヴァス 45.5×40 E1984.01.40</p> <p>パリ、ルーヴル美術館 レースを編む女 (M. I. 1448) 1669-1670年 絵画、カンヴァス (板に貼付) 24×21 E2009.01.12</p> <p>ワシントン、ナショナル・ギャラリー 手紙を書く婦人 1665年 絵画、カンヴァス 45×39.9 E1987.02.86</p> <p>1815年 ペン、褐色インク、木炭 29.8×36 E2000.03.60</p> <p>ホイアール・バハ、アンゼルム・フリードリヒ Fuechtel, Anselm Friedrich 1829-1880 ドイツの画家</p> <p>ウィーン、アルベルティーナ国立美術館 夏の夜を待つにつけ髪のある男の肖像 (Inv. No. 5270) 1825年 褐色の 鉛筆、顔料と白色の透明水彩、褐色水彩 45.3×31 E1991.01.49</p> <p>フォークトヘア、ハインリヒ (子) Foght, Heinrich der Jüngere 1813-1868 ドイツの画家、版画家</p> <p>ローマ国立美術館 静物 (Inv. no. 149) 1649年 静物画とされた本画、木版印刷による テキスト 34.5×23.6 (横写)、39.9×28.1 (縦写) Goldberg, 1668 E1990.01. 39</p> <p>フランス、コルネリス・デ Van, Cornelis de ca. 1584-1651 オランダの画家</p> <p>日本、横尾重一 少女の像 絵画、板 90×70 E1980.01.120</p> <p>フランス、マールサン・デ Van, Maarten de 1532-1603 オランダの画家</p> <p>ドレスデン国立美術館 夏の夜を待つにつけ髪のある男の肖像 (Inv. No. C 1871.18) 1895年 横写、筆、 褐色インク、鉛筆 19.5×26.8 E1984.01.33</p> <p>東京、国立西洋美術館 花壇の中の静物 (Inv.No.580) 絵画、カンヴァス 117×96.5 E1983.01.42</p> <p>ヴェン、オットー・ファン Van, Otto van 1556-1629 オランダの画家</p> <p>パリ、ルーヴル美術館 壁面に置かれた置物 オットー・ファン・ファン (Département des Peintures, inv. 1011) 1584年 絵画、カンヴァス 178×259 E1991.01.69</p> <p>ウィーン、アルベルティーナ国立美術館 静物 (Inv. no. 2018) 1840年 静物画の静物、 木炭 15.3×11.1 E1991.01.57</p> <p>フランス、フェルナン Fau, Fernand 1883. ca. 1919 フランスの洋装画家</p> <p>パリ、広告美術 巨人像のためのポスター 1895年 多色鉛筆印刷版 55.5×36 E1986.03. 303</p> <p>フランス、カール・フィリップ Fehr, Carl Philipp 1796-1818 ドイツの画家</p> <p>ドレスデン国立美術館 ゾルブリックのザクセン・ベーターズ運動の行列 (Inv. C 1908-18) 1815年 水彩、ペン、水彩 31.3×31.3 E2000.02.09</p> <p>ドイツ、プランナーの版画、シュトラッスベルク城 (Inv. C 1886-16)</p>	<p>フォッジーニ、ジョヴァンニ・バッティスタ (子) Foggini, Giovanni Battista (?) イタリアの画家</p> <p>ドレスデン国立美術館の欠片 寶石をゼンク集積 (Inv. No. 117) 18世紀初め 様々な素材、黒色の 化粧紙、寶石をゼンク (ビネート・フォーレ)のアレット(板、磨いた黒 色石灰石、様々な色の濃縮、緑、赤、黄、紫、黒、白、透明)、アロンズに 適合、黄金された真鍮の線 21.7×20.5×22.5 E2000.03.49</p> <p>フランス、シャルル・ド・ラ Fouss, Charles de la 1636-1716 フランスの画家</p> <p>パリ国立美術館 バリエーションの静物 (Inv. No. 804) ペン、褐色インク、筆、褐色の水彩 17.9×25.1 E1992.03.34</p> <p>（オーストリア）の静物 (Inv. No. 2028) 静物、カンヴァス、白の インク 25.5×26.8 E1992.03.35</p> <p>聖彼得堡、エルミタージュ美術館 聖彼得堡の静物 (Inv. No. 2028) 静物、カンヴァス 34×23.4 E1992.03.36</p> <p>パリ国立美術館 (東京) プロコピオの肖像 (1638) 1673年 (113665-1670年 絵画、カンヴァス 145×181 E2000.01.47)</p> <p>ロンドン、大英博物館 黒人の像 (1864.6.28.68) 赤鉛筆、黒鉛、白のインク、淡 褐色の筆、18×14.5 E2000.04.04</p> <p>フィッシャー・フォン・デル・モルトの肖像 Maire de Fontainebleau Nivernais active 16th century イタリアの画家</p> <p>ウィーン、アルベルティーナ国立美術館 静物、ベルヴェデーレの静物 (Inv. No. 22449) 1624年 横写、ペン、褐色と黒インク、炭 31.4×15.4 E1993.03.41</p> <p>フランス、ジョアン・エ、ジャン Fautrier, Jean 1898-1964 フランスの画家、彫刻家</p> <p>パリ国立美術館 十字架のキリスト 1929年 絵画、カンヴァス 163×97 E1961.03.311</p> <p>パリ、個人蔵 オーストリアの静物 (Inv. No. 104) 1946 E1960.02.269</p> <p>フランス、ジャン・ルイ Fautin, Jean Louis 1822-1831 フランスの画家、版画家、真鍮画家</p> <p>パリ、ルーヴル美術館 静物 水彩 29×42 E1961.03.216</p> <p>ドレスデンにて クレオン、ウイ 28×31 E1961.03.217</p> <p>黒鉛の線 (Inv. No. 116) 18世紀初め 様々な素材、黒色の 化粧紙、寶石をゼンク (ビネート・フォーレ)のアレット(板、磨いた黒 色石灰石、様々な色の濃縮、緑、赤、黄、紫、黒、白、透明)、アロンズに 適合、黄金された真鍮の線 21.5×20.5×22.5 E2000.03.48</p> <p>フィッシャー・フォン・デル・モルトの肖像 Maire de Fontainebleau Nivernais active 16th century イタリアの画家</p> <p>フィッシャー・フォン・デル・モルトの肖像 Maire de Fontainebleau Nivernais active 16th century イタリアの画家</p> <p>フィッシャー・フォン・デル・モルトの肖像 Maire de Fontainebleau Nivernais active 16th century イタリアの画家</p> <p>フィッシャー・フォン・デル・モルトの肖像 Maire de Fontainebleau Nivernais active 16th century イタリアの画家</p>
--	--	---

図5 「刊行物一覧」部分

C1987.01 『アルノルト・ベックリン展』 (=Arnold Böcklin.) 143 pp. →E1987.01

C1987.02 『西洋の美術』 (=Space in European Art.) 301 pp. →E1987.02

C1987.03 『イギリスのカリカチュア』 (=The Exhibition of British Caricature from Hogarth to Hockney.) 145 pp. →E1987.03

C1987.04 『国立西洋美術館設置の状況』第1巻 236 pp.

C1987.05 『西洋の美術』展開催記念：国際美術史シンポジウム 176 pp. (経団連会館国際会議場で1987年4月2日-4日に開催されたシンポジウムの報告書) →E1987.02

①『国立西洋美術館展覧会総覧 1960 - 2009』について

作家名の統一については、米国ゲティ美術研究所発行の美術家名典拠録 *Union List of Artist Names*⁹を参照したが、カタログ上の表記と著しい隔たりがあった場合には、適宜調整した。日本語表記は前掲典拠や展覧会カタログでの表記を尊重しつつ、慣習にしたがって修正を加えた。

4.3 第3部「刊行物一覧」

第3部「刊行物一覧」は、当館の刊行物総目録である（図5）。展覧会カタログを中心に、作品総目録、シンポジウム報告書、逐次刊行物に加え、刊行年順に収録する。収録データ件数は展覧会カタログなど259冊、逐次刊行物7タイトル。

基本的には当館が編集または刊行した出版物を対象としたが、国際巡回展の外国語版カタログや会期終了後の展覧会報告書など、当該展覧会と深く関わる場合には、他機関から刊行されたものも収録した。

5. 国立西洋美術館の展覧会

本書を活用しての日本における西洋美術の受容史などは発表者の手に余る問題であるが、最後に当館展覧会を簡単に振り返り、気づいた点を指摘しておきたい。

国立西洋美術館が最初に行った展覧会は、開館から1年を経た1960年の「松方コレクション名作選抜展」である。つまり当館は特別展ではなく、所蔵作品による常設展をもって開館したことになる。周知のように当館は、フランス政府から寄贈返還された松方コレクションを受け入れるために設置されたものであり、その開館展示には、

戦後の日仏両政府間の返還交渉を経て、ようやく日本に帰することとなった作品を国内で初公開する歴史的意義があった。続く第1回特別展も、タイトルが示すように松方コレクションを扱っていたが、これは所蔵作品に加え、戦前から国内に散在していた松方氏旧蔵の作品を集め、同コレクションの全体像の復元を試みたものであった。

以来当館は、国内唯一の西洋美術専門の美術館として、展覧会や出版活動を通じて西洋美術の紹介に努めてきた。「ミロのビーナス特別公開」（1964年）や「バーンズ・コレクション展」（1994年）は開催当時大きな話題を集め、また国際的な学術共同企画としては「ジャポニスム」展（1988年）、「ロダンとカリエール展」（2006年）などがあった。「西洋の美術」展（1987年）は、ヨーロッパ21カ国が参加する欧州評議会と共同で開催した大規模な展覧会であり、また国内各地からの要望で実現した「松方コレクション展」は、1962年から1977年までの間に21道府県を巡回した。

これらの展覧会出品作品を一瞥すると、レオナルド・ダ・ヴィンチやフェルメールなどのビッグ・ネームが際立って見えるが、実際にデータを集積してみると単にそればかりではなく、膨大な数のマイナー作家の作品があってこそ展覧会が構成されているのが実感できる。所蔵先も世界各国の美術館や個人コレクションなど広範にわたり、その膨大なレコード数があらかず作家や所蔵者の多様性には目を瞠るものがあつた。

広く研究者や美術愛好家に利用いただくことで、本書が展覧会カタログのさらなる活用に一役買うことができれば幸いである。

¹ 国立西洋美術館編著『国立西洋美術館展覧会総覧 1960-2009』東京：淡交社、2009。

² 日外アソシエーツ編。東京国立近代美術館・横浜美術館・国立西洋美術館・東京都写真美術館・東京国立博物館・東京都江戸東京博物館監修『展覧会カタログ総覧』東京：日外アソシエーツ、2009。

³ Tom McNulty. *Art Market Research: A Guide to Methods and Sources*. Jefferson, NC: McFarland, 2006, p. 108.

⁴ Algernon Graves. *The Royal Academy of Arts: A Complete Dictionary of Contributors and Their Work from its Foundation in 1769 to 1904*. London: Graves, 1905-6. 1970年に復刻版が出版されている。

⁵ Philip Dombowsky. *Index to National Gallery of Canada Exhibition Catalogues and Checklists, 1880-1930*. Ottawa: National Gallery of Canada, Library and Archives, 2007.

⁶ 東京国立文化財研究所美術部編『明治期美術展覧会出品目録』東京：東京国立文化財研究所、1994など。

⁷ 神奈川県立近代美術館編『神奈川県立近代美術館30年の歩み 資料・展覧会総目録：1951～1981』鎌倉：神奈川県立近代美術館、1982。

⁸ 今橋映子『展覧会カタログの愉しみ』東京：東京大学出版会、2003、p.5ほか多数。

⁹ http://www.getty.edu/research/conducting_research/vocabularies/ulan/（2009年9月18日参照）